

AWS DevOps Agent とは

夜中のページに、**先輩 DevOps が先に調査してくれる**

あなたは「直すかどうか決めて、本番を修正する」ことに集中できる

作成: 2026年7月3日

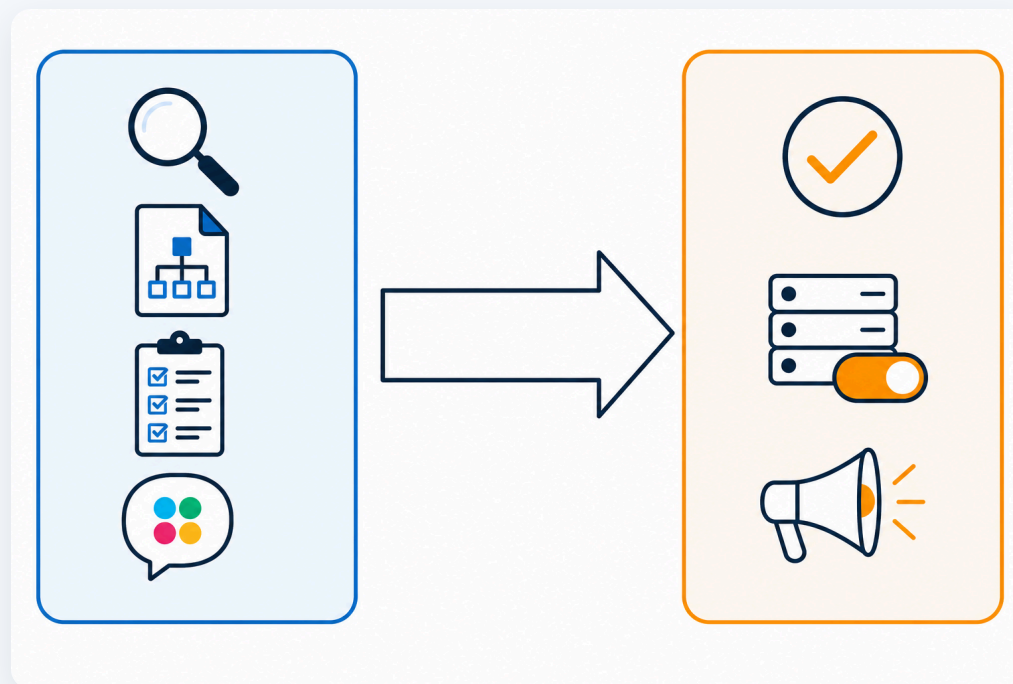
対象: オンコール担当 / SRE / DevOps



一言で言うと

「原因調査」と「社内への報告」をAIが先にやる。
本番の修正は、これまで通り人間が実行する。

役割	やること
エージェント	調べる → 原因を特定 → 直し方を提案 → 社内に報告
人間	判断する → 本番を直す → 社外に報告



AWS DevOps Agent とは

障害が起きたとき、経験豊富な DevOps エンジニアが代わりに調査してくれる AI サービス。

- CloudWatch や Datadog のログ・メトリクスを見る
- 直近のデプロイ（Git）と突き合わせる
- 「原因はこれです」「こう直せばいいです」と報告する

ただし本番の設定変更やロールバックは自分で実行する（エージェントは実行しない）。

何が変わるか

場面	今まで（手動）	DevOps Agent 導入後
ページ直後	各ツールを開いて調査開始	エージェントがすでに調査中
原因特定まで	自分でログ検索・仮説・検証	RCA（原因分析）が届く
直し方	チームで議論して runbook を探す	修正手順付きの緩和プランが届く
本番を直す	自分で実行	自分で実行（変わらない）

障害対応の流れ（全体）

#	ステップ	担当
1	アラートが鳴る（CloudWatch → PagerDuty 等）	—
2	どのアラートを調査するか判断	Agent が自動整理
3	原因を調べる（ログ・デプロイ横断）	Agent
4	原因 + 影響範囲を報告	Agent
5	直し方の手順書（緩和プラン）を作成	Agent
6	本番を直す（ロールバック等）	人間
7	報告・振り返り	Agent が投稿 / 実装は人間

手動 vs 導入後

今まで（全部自分）

アラート → CloudWatch → Datadog → Git → ログ検索 → チームで相談 → ロールバック → Slack 報告

導入後（調査は任せる）

エージェント（並行）	人間
調査開始 → ログ・デプロイ確認	起きる
原因と直し方を報告	直し方を確認して OK か判断
Slack / チケットに自動投稿	ロールバックを実行 → 直ったか確認

起きたとき、エージェントはすでに「原因」と「直し方」を調べている。

エージェントの調査の流れ

順	処理
1	アラート / チケット / 手動起動で開始
2	同じ障害？ → 既存にまとめる / ノイズならスキップ / 新規なら調査
3	仮説 → ログ・メトリクスで確認 → 原因特定まで繰り返し
4	原因を報告 → 直し方の手順書を作成
5	Slack / チケットに投稿
6	人間 が手順を見て実行

作業の引き継ぎ — エージェント側

今まで手動でやっていたこと	エージェントがやること
各監視ツールを開いて調べる	まとめて調べる
「さっきデプロイしたな…」と Git を確認	デプロイと異常を自動で突合
ログを検索して原因を推理	原因分析（RCA）を自動作成
Slack に「調査中です」と書く	調査結果を自動投稿
runbook から直し方を探す	修正手順付きの緩和プランを作成

作業の引き継ぎ — 人間側

作業	理由
ページに応答する	通知は今まで通り
直し方を OK するか判断	最終判断は人間
ロールバック・設定変更を実行	本番変更はエージェントが実行しない
経営・顧客への報告	社外連絡は人間
再発防止のコード修正	提案は出るが実装は人間

対応範囲の早見表

Agent がやる	人間がやる
原因調査	本番を直す
原因の特定	OK / NG の判断
直し方の提案	社外への報告
Slack / チケット更新	

アラート → **Agent**（調査～提案） → **人間**（判断～本番修正）

具体例 — DB が詰まってエラー急増

状況: DynamoDB の処理上限に達し、Web で 5xx が急増。



具体例 — 時刻ごとの違い

時刻	手動の場合	DevOps Agent あり
0:00	スマホが鳴る	同じ
0:02	PC を開いて各ツールを確認	すでに調査開始済み
0:45	まだ原因を探している	「Lambda の設定変更が原因」と報告
1:30	「ロールバックしよう」と決める	手順がすでに届いている
1:45	自分でロールバック	自分でロールバック（同じ）

ある大学の事例: 対応時間が 2 時間 → **28 分** に短縮

まとめ

覚え方	内容
イメージ	先輩 DevOps が夜中に先に調査し、報告書を渡してくれる
楽になること	ログ検索・原因推理・Slack 更新
変わらないこと	本番を直すのは自分

【エージェント】 調べる → 特定 → 提案 → 社内報告
【人間】 判断する → 本番を直す → 社外報告

緩和プランは作るが、**本番への変更は実行しない**

参考リンク

- [Autonomous incident response](#)
- [About AWS DevOps Agent](#)
- [GA 発表（2026年3月）](#)
- [GA ブログ（事例）](#)

情報源: [AWS Documentation MCP / Knowledge MCP](#)（2026年7月時点）